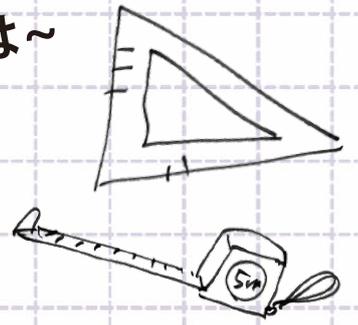


子ども環境ラボ vol.5

子ども施設の音環境デザイン

～居心地の良い音環境とは～



子どもの成育環境についての学びと交流の場、「子ども環境ラボ」vol.5を開催します。第5回は、こどもの音環境について研究・実践されている船場ひさお氏、野口紗生氏に、国内の現状や音環境面で先進しているドイツでの調査事例、そして音環境づくりの実践についてお話いただきます。保育施設は騒音が注目されがちですが、子どもにとっても保育者にとっても居心地の良い落ち着いた音環境は大切。施設づくりや子どもへの関わりなど、環境と人とでつくる音環境について一緒に考えてみませんか。ご興味のある方、子どもの成育環境、保育環境に関わっている方、ぜひご参加ください。

講師

一般社団法人 こどものための音環境デザイン(ADC)

船場ひさお氏

ADC代表理事 / 博士(芸術工学) /
保育士 / 横浜国立大学 客員教授



野口紗生氏

ADC理事 / 博士(国際情報通信学) /
明治大学・早稲田大学 博士研究員



一般社団法人 こどものための音環境デザイン Acoustic Design for Children (ADC)

日本建築学会子どものための音環境WG活動を経て本年3月3日(耳の日)に設立。こども施設をはじめとするこどもを取り巻く音環境の向上を目指し、様々な分野への情報発信、音響診断・音響改修やワークショップなど音環境づくり支援、人材育成、優良施設認証等に取り組んでいる。

2020年 7月30日(木)

19:00～20:30

終了後に30分ほどのZoom懇親会を予定しています。

Zoomオンライン配信のみ

質問コーナーあり・お申込後にアクセス方法を送付

【参加費】 1,500円 (学生 500円)

【事前申込・お支払】

下記サイトより事前申し込みください。(定員30名)

<https://enpower-event20200730.peatix.com>

※サイトより申込できない場合は
下記お問合せ先へメールにてお申込みください。

【主催】 一般社団法人 園Power

【お問合せ先】 enpower.org@gmail.com



▲読み聞かせには響きの少ない音環境が必要：
吸音仕様の天蓋を設置した事例
© 明治大学上野研究室

◀午睡には静かな音環境が必要

【次回予告】

8月7日(金)

都市部の保育施設の空気環境について
田中稲子氏
横浜国立大学准教授(建築環境工学)